

# 感染防止安全計画

【第2版(令和4年3月版)】

開催概要		
イベント名	飯田お練りまつり	
出演者・チーム等	26団体	
開催日時	日付	3月25日～27日(うち交通規制 3月26日、27日)
	時間	午前9時～午後6時
開催会場	飯田市中心市街地	
会場所在地	飯田市常盤町41番地	
主催者	本部 飯田お練りまつり奉賛会	
主催者所在地	飯田市常盤町41番地	
主催者連絡先	(電話番号)	(メールアドレス)
	0265-24-1234	info@iidacci.or.jp
収容率(上限)	収容定員あり 100% (※)	収容定員なし 人と人が触れ合わない 程度の間隔
	いずれかを選択(いずれも大声(※)がないことを担保)	
収容定員		
参加人数	出演団体の参加者は全体で2,000人程度 観客は20万人を想定 (前回開催時 観客数35万人)	
ワクチン・検査パッケージ制度の活用		緊急事態措置区域: 人数上限10,000人を収容定員まで緩和
		まん延防止等重点措置区域: 人数上限20,000人を収容定員まで緩和
その他特記事項	一時的歓声はあるが常時発せられているものではない当日のアナウンスで大声を発することをしないようまた、拍手での対応をお願いする。 (大声なしと判断した理由や、大声を伴わないことを担保する具体的な対策を記載してください。)	

(※) 大声の定義を「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」に該当することと整理する。

## 具体的な感染対策

### ①飛沫の抑制(マスク着用や大声を出さないこと)の徹底

- ✓ 飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスク(品質の確かな、できれば不織布)の正しい着用や大声を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる

(※)大声の定義は「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とする。

#### <具体的な対策>

- ・HPやチラシなどの広報で大声での会話や歓声等は控えるよう呼びかける。
- ・観覧者受付にてマスクの着用を確認し、マスク未着用者にはマスクを支給して着用を徹底する。
- ・場内アナウンスによる呼びかけを行うとともに巡回スタッフによる注意喚起を行う。
- ・ホームページでの呼びかけと回覧文書には、要点を記載する。

## ②手洗、手指・施設消毒の徹底

- ✓ こまめな手洗や手指消毒の徹底を促す(会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施)
- ✓ 主催者側による施設内(出入口、トイレ、共用部等)の定期的かつこまめな消毒を実施する

### <具体的な対策>

- ・HPやチラシ、場内アナウンスなどで手洗い、手指消毒を呼びかける。
- ・仮設トイレは30分に1回、消毒作業を行う。
- ・仮設トイレ設置箇所には手洗い場を設け、アルコール消毒液を常備する。
- ・間隔をあけて並んでもらうための目印を敷設する。
- ・シャトルバスは降車後、車内の消毒を行う。
- ・ペーパータオルを設置する。
- ・消毒は専門の業者に依頼する。
- ・ゴミ箱が溢れないように確認する。

### ③換気の徹底

法令を遵守した空調設備の設置による常時換気又はこまめな換気(1時間に2回以上・1回に5分間以上)を徹底する。

#### <具体的な対策>

・屋外でのイベントにて必要なし

## ④来場者間の密集回避

入退場時の密集を回避するための措置(入退場ゲートの増設や時間差入退場等)を実施する

休憩時間や待合場所での密集を回避するための人員配置や動線確保等の体制を構築する。

✓ 人と人が触れ合わない間隔を確保する。

### <具体的な対策>

- ・HPやチラシ、場内アナウンスなどで社会的距離の確保を呼び掛ける。
- ・GPSの団体位置情報(NERIなび)の画面へ表示された混雑状況を確認すること。
- ・出店ブースにおいては、店舗間の距離を十分に取り、利用者が適切な距離を保てるなど、できるだけ利用者との接触が少なくなる等の配慮を行うよう指導する。
- ・観覧者が多く集まる出演団体の演舞場所には、スタッフを配置して、間隔を空けるよう指導し、歓声を控えるよう注意喚起する。
- ・出演団体は車道での演舞で観覧者は歩道での観覧とする。
- ・観覧者どうしの間隔は1メートル位とるようアナウンスする。
- ・大声の対策として、拍手での対応をお願いする。
- ・喫煙エリアは設置しない。
- ・障がい者、高齢者については本部と知久町に対応席を設置する。(数に限りがある)
- ・観覧者には、検温とマスク着用を受付で確認する。
- ・混雑状況確認のアプリを作成し、アプリはガイドブック、ホームページなどで周知する。
- ・現在の混雑状況をアナウンスする。
- ・高速バスは事前申し込みでの乗車となるため、密は回避可能。

## ⑤ 飲食の制限

- ✓ 飲食時の感染防止策(飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策)を徹底する
- ✓ 飲食中以外のマスク着用を推奨する
- ✓ 長時間マスクを外す外食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外(観客席等)での飲食自粛を奨励する  
(ただし、発生がないことを前提に、飲食時以外のマスク着用担保や、マスクを外す時間を短くするため食事時間を短縮する等の対策ができる環境においてはこの限りではない)
- ✓ 自治体等の要請に従った飲食・酒類提供の可否判断(提供する場合には飲酒に伴う大声等を防ぐ対策を検討)を行う

### <具体的な対策>

- ・会場内に飲食スペースは設けない。
- ・出店者、露天商が販売する飲食物はテイクアウト(持ち帰り)とし、容器や袋に入れて渡す。
- ・出店者、露天商はアルコール販売は行わない。
- ・会場内の既存飲食店が店舗前において飲食物を販売する場合は、テイクアウト(持ち帰り)とし、容器や袋に入れて渡す。
- ・会場内の既存飲食店がアルコールを提供する場合は店舗内のみとし、カップやグラスなどに注いだアルコール(例;生ビール)の販売は、店舗前では行わない。
- ・食べ歩き禁止のアナウンスを実施する。
- ・食事場所はスタッフ、出演者、観覧者が混在することのないようにする。
- ・出店者、露天商に対しては、ビニールカーテンなどの設置を依頼する。
- ・持ち帰りへの協力をアナウンスする。

## ⑥出演者等の感染対策

- ✓ 有症状者(発熱又は風邪等の症状を呈する者)は出演・練習を控える等、日常から出演者やスタッフ等の健康管理を徹底する
- ✓ 練習時等、イベント開催前も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する
- ✓ 出演者やスタッフ等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる(誘導スタッフ等必要な場合を除く)

### <具体的な対策>

<p>(1)事前の対応</p> <p>①有症状者等は参加しない。</p> <p>②団体の関係者の氏名、年齢、住所及び連絡先(電話番号)を把握し、名簿を作成する。名簿は、お練りまつり終了後3週間は保管すること。また、団体の関係者に対しては、こうした情報が必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知するとともに、個人情報の保護の観点から、名簿等の保管および保管後の廃棄には十分な対策を講ずる。</p> <p>③笛やパチ、またタオルや法被、ハチマキ、タスキ等の共用はしない。</p> <p>④共用物に触れる前には、アルコールなどで手指消毒を行う。</p> <p>⑤出演日の14日前から検温を行い、出演日に団体責任者へその結果を提出するとともに、以下に該当する場合は練習を含めて参加を見合わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・体調がよくない場合(例:発熱、咳、咽頭痛、倦怠感、味覚・嗅覚異常などの症状がある場合)</li><li>・同居家族や身近な知人に感染者や濃厚接触者、感染が疑われる者がいる場合</li><li>・新型コロナウイルス感染症の陽性と判明した者との濃厚接触がある場合</li><li>・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該国、地域等の在住者との濃厚接触がある場合</li></ul> <p>⑥練習において感染対策を講ずる。</p> <p>(2)演舞等を行う際の留意点</p> <p>①有症状者等は参加しない。</p> <p>②出演者及び役員、係員に対して、参加日ごとに「簡易検査キット」による抗原定性簡易検査を実施し、陰性を確認する。なお、検査に際しては『検査用キット』に氏名、日時を記入し、写真を撮って保存するようにする。</p> <p>③屋台獅子の幌内部の換気対策を施す。</p> <p>④所望席及び観覧者との距離は2m以上保つように設営する。</p> <p>⑤演舞場所においては、監視員(警備員)を配置して、間隔を空けるよう指導するとともに、歓声を控えるよう指導する。</p> <p>⑥大名行列、東野大獅子に対しては、主催者として8人の専門の警備員を配置する。</p> <p>⑦演舞の際は、飲酒しない。</p> <p>⑧移動中はマスクを着用する。</p> <p>⑨予定以外の所望は受けない。</p> <p>(3)関係者に感染が疑われる者が発生した場合</p> <p>①速やかに隔離等を行い、人との接触をできる限り避け、必要に応じて帰宅させ、自宅待機とさせる。</p> <p>②対応するメンバーは、マスク、手袋、ゴーグルの着用を徹底する。</p> <p>③速やかに保健所へ連絡し、指示を受けるとともに保健所の聞き取りに協力し、必要な情報提供を行う。</p> <p>④発症等の症状により自宅で療養することとなった者は、発症から10日経過するまでは参加を認めない。</p>	
開催要領等の 該当ページ	

## ⑦参加者の把握・管理等

チケット購入時又は入場時の連絡先確認やアプリ等を活用した参加者の把握を行う

- ✓ 入場時の検温、有症状(発熱又は風邪等の症状)等を理由に入場できなかった際の払戻措置等の有無を周知し、有症状者の入場を確実に防止する

時差入退場の実施や直行・直帰の呼びかけ等、イベント前後の感染防止について注意喚起を行う

### <具体的な対策>

- ・観覧者受付(以下、「受付」)を以下に設置する。  
臨時駐車場(鼎小学校、鼎中学校、鼎文化センター、JAみなみ信州本所、城下グラウンド、上郷小学校、上郷運動場、飯田文化会館、浜井場小学校、丸山小学校、飯田東中学校、武道館、今宮球場、勤労者福祉センター)  
JR飯田線(飯田駅、桜町駅)  
中心市街地(飯田市役所、飯田商工会館、飯田市中央通り1・2丁目)
- ・受付では、検温、不織布マスクの着用確認を行い、受付済み証のシールを配りマスクに貼付してもらう。
- ・マスク未着用者にはマスクを支給して着用を徹底する。
- ・検温はコロナ対応のガンタイプの体温計により、短時間で計測する。
- ・高熱の観覧者が出た場合は、簡易検査キットによる抗原定性簡易検査を受付場所から離れた箇所で行う。検査後、陽性が判明した場合は当番医又は保健所に連絡する。
- ・待機列では間隔を取ってもらうよう受付でアナウンスする。
- ・観覧者受付がまだの人には受付をしていただくように、また受付済み証のシールがついていない人にも会場内でアナウンスするとともに、巡回スタッフが受付を済ますよう協力を求めている。



以降は該当する場合のみ記載。

## ワクチン・検査パッケージ制度に関する実施計画

※緊急事態措置やまん延防止等重点措置の発令時に、人数上限を超えて、収容率100%での開催をしようとする場合に記載

※「ワクチン・検査パッケージ制度要綱」(令和3年11月19日新型コロナウイルス感染症対策本部決定)及び「ワクチン・検査パッケージにおける抗原定性検査の実施要綱」(令和3年11月19日付け事務連絡)及び「ワクチン・検査パッケージ」の実施に係る留意事項等について」(令和3年11月19日付け事務連絡)を確認の上、下記の項目について、実施の有無をチェックしてください。

「ワクチン接種歴」及び「検査結果」のいずれも対象としている

実施を予定している検査の内容について具体的に記載してください。

開催要領等の該当ページ	

「ワクチン接種歴」及び「検査結果」の確認方法について具体的に記載してください。

開催要領等の該当ページ	

抗原定性検査を実施する場合には、「ワクチン・検査パッケージにおける抗原定性検査の実施要綱」(令和3年11月19日付け事務連絡)に従い、適切に実施している

その他の事項についても、「ワクチン・検査パッケージ制度要綱」に従い、適切に実施している。

## 専門家との調整状況

※専門家の事前確認を受けた場合に記載

助言を受けた専門家	所属	
	氏名	
主な助言内容		